

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 6 年 9 月定例会	
議案番号 議案名	議案第 26 号 令和6年度松戸市一般会計補正予算(第4回)
議員名・会派名等	伊東英一 公明党
賛否態度	賛成
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	以下の討論をもって、態度決定に至った理由といたします。 ただいま議題となっております議案第 26 号、松戸市一般会計補正予算(第 4 回)につきまして、会派を代表して委員長報告のとおり賛成の立場から討論いたします。 本予算案は 6 月議会において国有財産取得の議案が可決したのを受け、国有財産取得に向けて国との手続きを進める中で、9 月 4 日に開催された国の地方審議会において「松戸市への売却が適当」との結論があり、国有財産取得へ目途がついたことから、速やかに必要な工事などへ着手するための予算を措置するためのものです。 具体的には、周辺家屋調査、新庁舎整備基本計画(第一ステップ)策定、旧松戸法務局総合庁舎解体費、それに伴う害虫駆除、埋蔵文化財調査などです。 私たち公明党は、これまで一日でも早く新庁舎建設を前に進めていただきたいと、様々な場面で訴え続けてまいりました。 今回提案された内容は、一つでも遅れれば、新庁舎建設が遅れることとなり、一日でも早く新庁舎完成のためには着実な予算執行が必要不可欠です。国の地方審議会の結論を受け、急遽 9 月定例会にこれらの内容を盛り込んだ追加議案を提案してこられた執行部のご努力に敬意を表するとともに、着実に進捗を図っていただきたいと申し上げます。 工事費の概算について、これまでの算出根拠は「必要面積×1 平方メートル当たりの単価」で算出したものでした。現在は物価が毎日のように高騰していることから、現時点で詳細な内容を詰めて算出したとしても、実際の工事が行われるときには、工事費が上昇してしまうことは容易に想像ができます。 市立病院を移転して建設した松戸市立総合医療センターの建設費は、当初 136 億円と示されていましたが、東京オリンピック開催決定など社会情勢の変化が著しく、結果的に追加補正を行い 193 億となったことは記憶に新しいところです。 必要なものはある程度の財政負担があっても必要なものであり、いた

	ずらに時間をかけることこそが、財政負担を大きくしてしまうことを危惧しています。 先日には市役所本館で水道管の老朽化により、トイレの使用ができなくなっていました。 ともかく、新庁舎整備のために動きださなければ何も進みません。 一日でも早く新庁舎を建設していかなければならない。 と強く申し上げ、本議案に賛成するものです。
--	--